

議会だより

平成25年 第1回3月定例会

平成25年第1回定例会は、3月11日開会され、平成24年度補正予算案件6件、平成25年度当初予算案件6件、条例案件19件、規約の変更案件1件、人事案件4件、議員提出議案3件のあわせて39件の審議を行い、原案通り可決・承認、同意し3月21日閉会しました。

● 補正予算 ●

議案第3号 平成24年度佐那河内村一般会計補正予算（第6号）について

歳入歳出それぞれ5,154万8千円を増額し、歳入歳出予算の総額を23億505万1千円とした。歳入では、増額となりますのは株式譲渡割交付金が118万2,000円の増、国庫支出金では過疎集落等自立再生緊急対策事業交付金が3,221万5千円の増、建築物耐震改修設計国庫補助金が300万円の増、地域経済循環創造事業交付金が4,950万円の増などによるもの。歳出では、総務費で過疎集落等自立再生緊急対策事業補助金が3,544万円の増、庁舎建築費の設計業務委託料で1,000万円の増、農林水産業費の地域経済循環創造事業交付金が4,900万円の増、土木費では住宅耐震改修事業補助金が120万円の増、諸支出金では減債基金積立金が3,400万4千円、役場庁舎改築基金積立金として3,900万円が増額などによるもの。

議案第4号 平成24年度佐那河内村国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）について

歳入歳出それぞれ1,120万円を減額し、歳入歳出予算の総額を4億6,038万6千円とした。共同事業拠出金の減額と財源の振りかえによるもの。

議案第5号 平成24年度佐那河内村簡易水道特別会計補正予算（第3号）について

歳入歳出それぞれ153万3千円を減額し、歳入歳出予算の総額を9,379万7千円とした。事業費の管理事業費の減額、諸支出金の簡易水道基金積立金の増額によるもの。

議案第6号 平成24年度佐那河内村農業集落排水事業特別会計補正予算（第4号）について

歳入歳出それぞれ404万7千円を減額し、歳入歳出予算の総額を1億8,929万2千円とした。事業費の施設管理費、事業管理費の減額によるもの。

議案第7号 平成24年度佐那河内村介護保険事業特別会計補正予算（第4号）について

歳入歳出それぞれ520万円を追加し、歳入歳出予算の総額を3億7,933万円とした。保険給付費の増額によるもの。

議案第8号 平成24年度佐那河内村後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について

歳入歳出それぞれ130万円を減額し、歳入歳出予算の総額を3,765万円とした。後期高齢者医療広域医療連合への納付金の減額によるもの。

● 当初予算 ●

議案第9号 平成25年度佐那河内村一般会計予算について

議案第10号 平成25年度佐那河内村国民健康保険事業特別会計予算について

議案第11号 平成25年度佐那河内村簡易水道特別会計予算について

議案第12号 平成25年度佐那河内村

農業集落排水事業特別会計予算について

議案第13号 平成25年度佐那河内村介護保険事業特別会計予算について

議案第14号 平成25年度佐那河内村後期高齢者医療特別会計予算について

● 条例案件 ●

議案第15号 佐那河内村指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について

佐那河内村指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定めるためのもの。

議案第16号 佐那河内村指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定について

佐那河内村指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに地域指定管理者密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定めるためのもの。

議案第17号 佐那河内村指定地域密着型サービス事業者及び指定地域密着型介護予防サービス事業者の指定に関し必要な事項を定める条例の制定について

佐那河内村指定地域密着型サービス事業者及び指定地域密着型介護予防サービス事業者の指定に関し必要な事項を定めるためのもの。

議案第18号 佐那河内村道路構造条例の制定について

佐那河内村道路構造令の制定を定めるもの。

議案第19号 佐那河内村村道に設ける道路標識の寸法を定める条例の制定について

佐那河内村村道における道路標識の寸法を条例として定めるもの。

議案第20号 佐那河内村移動等円滑

化のために必要な村道の構造に関する基準を定める条例の制定について
佐那河内村移動等円滑化に必要な村道の構造に関する基準を定めるもの。

議案第21号 佐那河内村営住宅等の整備基準を定める条例の制定について

佐那河内村営住宅等の整備基準を定める条例を制定するもの。

議案第22号 佐那河内村営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について

佐那河内村営住宅等の設置及び管理に関する条例の一部を改正するもの。

議案第23号 佐那河内村水道布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準を定める条例の制定について

佐那河内村水道布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者資格基準を定めるための条例を定めるもの。

議案第24号 佐那河内村暴力団排除条例の一部を改正する条例について

佐那河内村暴力団排除条例の一部を改正するもので、暴力団による不当な行為の防止に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴うもの。

議案第25号 佐那河内村農業集落排水基金の設置、管理及び処分に関する条例の制定について

佐那河内村農業集落排水基金の設置、管理及び処分に関する条例を制定するものであり、この基金の設置については、将来も本村の農業集落排水事業の円滑な事業実施ができるよう、基金をあらかじめ積み立てることを目的とするもの。

議案第26号 佐那河内村環境基金の設置、管理及び処分に関する条例の制定について

佐那河内村環境基金の設置、管理及び処分に関する条例を制定するものであり、本村の環境保全に関する事業を実施するために基金を造成す

るため基金を設けるもの。

議案第27号 佐那河内村乳幼児等医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例について

関係法令の名称変更に伴い改正するもの。

議案第28号 佐那河内村大川原高原ログハウス迎光閣の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について

佐那河内村大川原ログハウス迎光閣の設置及び管理に関する条例の一部を改正するもの。

議案第29号 佐那河内村大川原高原ヒルトップハウスの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について

佐那河内村大川原ヒルトップハウス設置及び管理に関する条例の一部を改正するもの。

議案第30号 佐那河内村建設事業残土処理場条例の一部を改正する条例について

佐那河内村建設事業残土処理場条例の一部を改正するもの。

議案第34号 佐那河内村課設置条例の一部を改正する条例について

広がる行政ニーズ、本村が抱えているいろいろな課題を推進するため、産業建設課と住民福祉課をそれぞれ産業環境課、建設課、住民税務課、健康福祉課とし、総務企画課と合わせて5課体制とするもの。

議案第35号 特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

平成25年度も村長、副村長への給与カットを行うもの。

議案第36号 佐那河内村教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例について

根拠法令の条のずれの改正、給与月額の内容の改正、給与カットの条例化を行うもの。

● 規約の変更案件 ●

議案第31号 勝浦町・上勝町・佐那

河内村障害程度区分認定審査会共同設置規約の変更について
根拠法令の変更に伴うもの。

● 人事案件 ●

議案第32号 人権擁護委員候補者の推薦について

岡本静子氏を再任したいので、議会の同意を得るもの。

議案第33号 固定資産評価審査委員会委員の選任について

多田雅雄氏を再任したいので、議会の同意を得るもの。

議案第37号 副村長の選任について

田村忠之氏を選任したいので、議会の同意を得るもの。

議案第38号 教育委員会委員の任命について

河村誠一氏を選任したいので、議会の同意を得るもの。

● 議員提出議案 ●

議員提出議案第1号 佐那河内村議会委員会条例の一部を改正する条例について

課の設置条例に伴い、佐那河内村議会委員会条例昭和46年条例第6号の一部を次のように改正する。第2条第1号中、産業建設課を産業環境課及び建設課に改め、同条第2号中、住民福祉課を住民税務課、健康福祉課に改めるもの。

議員提出議案第2号 オスプレイなど米軍機の低空飛行訓練中を求める意見書について

オスプレイなど米軍機の低空飛行訓練中止を求める意見書を、衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、外務大臣、防衛大臣に提出するもの。

議員提出議案第3号 TPP交渉の参加に反対する意見書について

TPP交渉の参加に反対する意見書を、内閣総理大臣、外務大臣、経済産業大臣、農林水産大臣に提出するもの。

一般質問

大岩和久議員

質 1、行政座談会について①これからの事業、またこれまでの事業の問題点等について十分説明がなされましたか。②住民は今回の行政座談会についてどのように評価されていると思いますか。③住民から貴重な御意見があったと思いますが、どのように対応されますか。また、その場で答弁ができていないことについてはどのように対処されますか。④今回の内容については、広報誌等で広く住民に対して周知し、情報の共有が必要と考えますがどうでしょうか。⑤今後も住民の御意見を聞く機会を定期的に開催してはどうでしょうか。

答 ①時間の許される範囲で、事業の経過を中心に、村の課題等を御説明させていただいた。②このたびの行政座談会について、直接ご意見を言ってこられた方はなく、もし具体的なことがございましたら、次回以降の行政座談会に反映しなければならぬと感じている。③行政座談会でのいろいろなやりとりをメモとしてとって、内容についてを近く庁内でも対応を協議しなければならない。それぞれの課あるいは係と善後策を協議していきたい。また、その場で答弁ができていないことについては日を改めて回答しなければならないが、なお、今しばらく時間をいただきまして行政座談会の内容の精査を行っていききたい。④広報3月号の紙面で、少し載せさせていただいていますが、今後村の中で検討していきたい。⑤このたびのことを少し反省点として、もう少し小さい単位での開催であるとか、どの時期がいいのか等、もっと細かなことを要望として聞かせる方法、あるいはより多くの職員が地域に向かいって地域の声を聞く等、そう

したことについて検討をしていきたい。

質 2、農業振興について①鳥獣害対策について、次年度は具体的にどのような取組が予定されていますか。現行の補助金等の制度について、広く住民に周知徹底をする必要があると思うがどうでしょうか。②耕作放棄地の利活用について、次年度は具体的にどのような取組が予定されていますか。今後、有効な利活用がされるための、情報発信をどのように考えていますか。

答 ①平成25年度については東部地域定住自立圏連携事業に取り組みたい。この事業により、鳥獣害対策の推進事業として村の猟友会に依頼し、鳥獣捕獲に対する報奨金を例年よりも多く予算措置をしている。村の単独事業としては、受益者が単独であっても電気柵の導入及び小規模な菜園に猿の侵入防止ネットの資材等に対する補助を行い、農作物に対する被害の防止に取り組んでいきたい。また、佐那河内神山地域鳥獣害防止広域対策協議会の事業内容としては、国や県の補助金を受けて推進事業を行っている。補助金等の制度については、平成25年度に、新たな事業もあり、野生鳥獣被害防止の啓発冊子等により、動物の特性を知り被害を受けない環境づくりを進めていきたい。②農地情報管理システムと新たに地図情報を連携させるシステムを導入して、適正な管理が行えるよう体制整備を図る予定である。今後有効な利活用がされるための情報発信については、作物の作付をするなど管理をしていただける人を探し、借り入れ希望者があらわれたとき耕作が再開できるような状態に保てるよう、広報紙やホームページ等で村内外広く周知を図っていききたい。

瀧倉俊晴議員

質 1、常会使用の机・イスについて①集会所改修の補助対象としてはどうか。②購入希望調査をしてはどうか。

答 ①村では常会が行う集会所の新築や改築等には補助金を交付している。それぞれ条件等はあるが、新築には5割以内、増改築には4割以内ということになっている。ご提案いただいた内容を庁内でさらに前向きに検討させていただきたい。②早目に調査をして住民のニーズを捉えるように努力する。

質 2、高所作業車による枝打ち事業について①平成25年度も事業継続してはどうか。②一ノ瀬地区などの国道・県道も枝打ちしてはどうか。

答 ①平成25年度でこの事業を継続するとすると、村の単独事業となる。村民の皆様のご協力をいただく等、方法を講じて前向きに検討したい。②国道・県道については県が管理をしているので、さらに要望活動をしていきたい。

中野 實 議員

質 1、庁舎建て替えについて①何のために建て替えようとしていますか。②「耐震補強」か「建て替え」かそれぞれの予算及び工期について③検討委員会等の設置を考えているか。④将来を展望して、どのような庁舎にしたいのか。・庁舎の間取りはどのように考えているか。・農業振興センターとの取り合い及びエレベータ設置について。・庁舎のバリアフリー化について。・防災拠点及び災害対応拠点設置について。・現在、お年寄りが気楽に集える場所としては宮前公民館、高樋保健センター、老人憩いの家などで2階にしかないので、お年寄りの憩いのスペースを考えてはどうか。⑤道州制に移行したときのことも考えて

いますか。

答 ①佐那河内村が地方自治体の中核組織としての機能を保つための建物であり、災害等が発生したときの防災拠点としての建物であること、村民が各種会合催し等に安全・安心でしかも利用しやすい建物であること等を勘案して、役場の耐震化を図らなければならない。②耐震補強か建て替えかも含め、工期、予算はこれからであり、ここ数年のうちであると考えている。③耐震補強の改修か新築かの方向性を見きわめるためには、いろいろな人からのご意見を聞くことが必要と考えている。④耐震の2次診断が済んだ時点であり、どうした方法がよいのかこれから検討をしていくので、ともども議論をしていきたい。⑤現在、方向性がわからないところであり、道州制が現実のものになると、どれだけの大きさの庁舎が必要かをよく吟味して、考えていかなければならない。

仁羽悟郎議員

質 1、行政座談会について①9会場の参加者②村行政に対して説明責任はできましたか。③6次産業事業について十分説明されましたか。④農振センター、平地、中辺地区での感想は。

答 ①9会場合わせて村の世帯の中割にすると参加費率は14.7%である。一番多かったところで36%、少ないところでは10%ということであり、それぞれの地区により参加の比率が違ってきている。②大岩議員さんの回答と同じ。③事業の経過を中心に限られた時間の中で話した。④参加者が少なかったなという印象を受けている。また、村のいろいろな取り組みについても、建設的な意見を言えるような方法を検討すべきであった。

質 2、住民会議について①第2部会、企画立案中であった過疎地有償運送を社会福祉協議会または、

NPOで取組と提案された後、村の委託事業として取り組んでいないようですが住民会議の皆さんは理解していないようですが、説明していただきたい。

答 ①庁内の中ではなかなか住民会議の皆様が長い間ご議論されてきた内容を消化できない部分等があり、いろいろな方を招いて進めていくのがよいのではないかとということになった。そして、村として取り組むのは、福祉を優先するのか、移動支援を優先するのか、そういったこと等を含めて徳島大学の先生に意見を聞いたり、資料をつくり、このたびの組織の発足となった。そうしたことで、村づくり住民会議の皆様のお考えどおり少し進めなかったところがあるが、趣旨はわかっているので、過疎地有償運送をどうした方向で取り組みやすくなるのか等を含めて、平成25年度も佐那河内方式はどういう方式がいいのかを実証できるように予算計上もしているので、ご理解をいただきたい。

松長英視議員

質 1、ゴミ処理に関して①一般廃棄物中間処理施設整備協議会の協議はどこまで進んでいるか。②中央広域環境施設組合の問題点をどう検討しましたか。③佐那河内村の分別収集の努力はどのように活かされるのか。④ゴミ処理経費が増大する恐れはないのか。

答 ①現在、一般廃棄物中間処理施設整備に係る基礎調査・基本計画策定業務契約により、平成17年に施行された交付金制度以降の国内における施設整備の状況の調査や、関係市町村におけるゴミに関する統計データをもとにゴミの量の将来予測などについて整理中である。この結果を踏まえ、平成25年度に、施設規模、ゴミ処理方式、またリサイクルセンターを含めた中間処理施設などの施設整備に関する基本計画が策定

される予定である。②広域での取組について、参加しているそれぞれの自治体の考え方があり、なかなか統一されるものではない。また、基礎調査・基本計画策定業務が行われている最中であり、詳細な事項につきましては今後の議論と考えている。③このたびの協議で、広域で施設整備がされたとしても、ごみの分別などについては逆戻りしないと考えている。④現在は基礎調査・基本計画を策定中であり、建設費、処理費についても今後協議会の議論として進めるので、しっかり議論していきたい。

質 2、子育て支援について①高校卒業までの医療費無料化についてどこまで検討されましたか。②勝浦町が踏み切ることを聞いてどう感じましたか。

答 ①ほかの自治体との状況等をみて担当部署でごく大まかな範囲で検討してきた。②あまり予期していなかったことで少しビックリしたが、子育て世帯の負担を軽減するとともに子育て中の環境の充実を図ることは、子どもたちが安心して必要な医療を受けられると考える。

質 3、過疎地有償運送に関連して①今後どう進めるのか。②高齢者を対象に考えていますが、人だけでなく物についても必要でないか。

答 ①実証実験やアンケートの実施を平成25年度行うことにより、佐那河内ではどういう方法がいいのか。また利用される皆様のニーズ調査を行い、方向性が定まればさらに取り組みを進めていく。②先に人のことについて考え、将来的には物のことについても考えていかなければならないと考えている。

岡本隆次議員

質 1、3連動地震対策について①食料備蓄場所をもっとわかりやすい所にできないか。②備蓄状況はどうなっているのか。③現状報告の確認方法は。

答 ①庁舎の耐震化のこと等もあわせて、拠点となるべく建物等も検討しなければならない。②平成24年度から食料の備蓄を進めている。現在、食料としてはアルファ米を350食、そのほかのものとしては段ボール製の簡易トイレを100個、毛布300枚、飲料水の袋900袋、それと浄水器1台となっている。③現時点で村が持っている双方向の通信機器は、防災行政無線では、27本あるパンザマストのうち、栗見坂、西府能、和協の3本につきましては役場との双方向ができる機能がある。防災行政無線ではハンディ機が3台と、消防

団のそれぞれの分団に配置しているハンディ機10台がある。あと、衛星の携帯電話が3台ある。また、現時点ではアマチュア無線を活用した方法で情報の伝達をできないかと考えている。

質 2、秋城下の墓地の地すべり対策について①地すべりで、墓地が傾いている状況で、国道が土砂で埋もれる恐れがあり、早急な対策が必要であると思われるがどうか。②ボーリングによる地質調査ができないか。

答 ①まず地すべり防止指定区域の枠に入れてもらうことが重要と

なってくる。そして現地を十分確認し、県に対して指定区域にさせていただくよう要望をしていきたい。②まず土地がどのような動きをしているか調査を行い、調査ができるよう県に要望していきたい。

質 3、保育所について①保育所をこども園に検討してはどうか。

答 ①認定こども園になると職員資格として幼稚園教諭の資格を持つてなければならない等の問題があるし、さらに保育士を確保しなければならない等の問題もある。佐那河内に合った就学前の保育を考えていく。

議 会 行 事 出 席 報 告

〈場 所〉
〈出席者〉

平成25年 3 月

3月3日 村づくり住民会議活動発表会 〈多目的ホール〉 (長尾議長他4人)

5日 村議会全員協議会 〈農振C〉 (全議員)

11日 平成25年第1回佐那河内村議会定例会
〈開会、議案の上程、議案審議〉 (全議員)

13日 平成25年第1回佐那河内村議会定例会 〈第2日、議案審議〉 (全議員)

14日 平成25年第1回佐那河内村議会定例会 〈第3日、議案審議〉 (全議員)

15日 佐那河内中学校卒業式 〈小中学校多目的ホール〉 (岡本副議長他5人)

15日 平成25年第1回佐那河内村議会定例会 〈第4日、議案審議〉 (全議員)

15日 高田法律事務所 (瀧倉監査委員、松下事務局長)

16日 佐那河内小学校卒業式 〈小中学校体育館〉 (全議員)

19日 平成25年第1回佐那河内村議会定例会 〈第5日、一般質問〉 (全議員)

21日 平成25年第1回佐那河内村議会定例会〈最終日、追加議案の上程、質疑・討論、表決〉(全議員)

22日 平成25年3月分例月出納検査 〈役場〉 (井開、瀧倉監査委員)

27日 平成24年度戦没者追悼式 〈村民体育館〉 (全議員)

28日 村農業委員会総会 〈役場〉 (大岩農業委員)

28日 小松島市外三町村衛生組合議会第1回定例会 〈小松島市〉 (長尾議長、中野議員)

29日 村社会福祉協議会評議委員会 〈農振C〉 (松下事務局長)